

進いが、美しい。

uni

三菱鉛筆 創業140年スペシャル

14th

サントリーホール40周年記念

指ガボール・

揮

タカーチ=ナジ ^{ピアノ} 藤田真央

ヴェルビエ祝祭室内管弦楽団

ベートーヴェンの交響曲2曲、

そして藤田真央が一夜に2曲のピアノ協奏曲に挑むスペシャルコンサート



© Silvia Laurent

© nicolas brodard

Mao Fujita (Piano), Gábor Takács-Nagy (Conductor)
Verbier Festival Chamber Orchestra

Photo: Johanna Berghorn
© Sony Music Entertainment

Program

ベートーヴェン・プログラム
Beethoven program

交響曲第1番 ハ長調 作品21
Symphony No.1 in C Major, Op.21

ピアノ協奏曲第2番 変ロ長調 作品19
Piano Concerto No.2 in B Flat Major, Op.19

ピアノ協奏曲第1番 ハ長調 作品15
Piano Concerto No.1 in C Major, Op.15

交響曲第2番 ニ長調 作品36
Symphony No.2 in D Major, Op.36

2026年 **10.14** [水] 18:20開場 / 19:00開演
※休憩1回 21:45頃終演予定
サントリーホール Wednesday 14, October 2026 at 7 p.m. Suntory Hall

入場料 (全指定席・税込)

S ¥28,000 A ¥25,000 B ¥19,000 C ¥14,000 D ¥9,000

サントリーホール・メンバーズ・クラブ先行発売: 3/24(火) 10:00~
一般発売: 4/4(土) 10:00~

- サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 (10:00~18:00、休館日除く)
- サントリーホール・メンバーズ・クラブWEB <https://suntoryhall.pia.jp/>
- イープラス <https://eplus.jp/> (PC&携帯)
- チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (PC&携帯) (Pコード:321-791)
- ローソンチケット <https://l-tike.com/> (PC&携帯) (Lコード:31864)

特別協賛: 三菱鉛筆株式会社 協力: ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル
主催: AMATI / サントリーホール

後援: 在日スイス大使館

お問合せ: AMATI 03-3560-3010 <https://www.amati-tokyo.com/>



2曲のピアノ協奏曲、そして2曲の交響曲

藤田真央が、一晩に2曲のピアノ協奏曲を演奏する。しかも、藤田真央が毎年のように参加しているヨーロッパ有数のフェスティバル、ヴェルビエ音楽祭のオーケストラとともに。今や、国際的人気ピアニスト藤田真央。ベートーヴェンのピアノ協奏曲を、まさに今生まれたかのような瑞々しい音楽に感じさせてくれるに違いない。性格の異なるこの2曲を、どのように弾き分けてくれるのかも興味が尽きない。何より、藤田真央が、一晩に2曲の協奏曲を弾くのは極めて稀な機会となる。そして、このコンサートのもう一つの楽しみが、タカーチ=ナジの深淵で洞察力に富んだ交響曲である。名だたるソリストや世界一流オーケストラのメンバーたちによって構成されたこの特別オーケストラ。音楽監督にガボール・タカーチ=ナジを迎え、緻密で熱気溢れるアンサンブルで絶賛されている。昨年、このコンビネーションによるベートーヴェンの交響曲全集がリリースされ、世界中で高い評価を得たことは記憶に新しい。藤田真央による2曲のピアノ協奏曲、そして2曲の交響曲。それらを一晩で楽しむ、少し長めの演奏会がひとときの夢のように感じられることだろう。贅沢で至福のひと夜をお聴き逃しなく。

PROFILE

ガボール・タカーチ=ナジ (音楽監督・指揮)

Gábor Takács-Nagy (Music Director)



© Evgenij Evstukhov

ハンガリーの指揮者、ガボール・タカーチ=ナジは、2007年にヴェルビエ祝祭室内管弦楽団の音楽監督に任命された。タカーチ=ナジ弦楽四重奏団の創設メンバーで第1ヴァイオリン奏者(1975年から1992年)として、サー・ユディ・メニューイン、アイザック・スターン、ムスティスラフ・ロストロポーヴィチ、アンドラーシュ・シフ、ミハイル・プレトニョフ、ジョシュア・ベル、ギドン・クレーメルらと共演。1996年にタカーチ=ピアノ・トリオを、1998年にミクロコスモス弦楽四重奏団を創設(バルトークの四重奏曲全曲で優秀賞受賞)。2002年にカメラータ・ベッレリーヴを創設して以来、オーケストラの指揮に専念している。2011年にはマンチェスター・カメラータの音楽監督、2012年にはブダペスト祝祭管弦楽団の首席客演指揮者に任命された。2013年にはアイルランド室内管弦楽団の首席芸術パートナーに就任。ジュネーブ高等音楽院で弦楽四重奏団の指導にあたるほか、王立音楽アカデミーの名誉会員、ヴェルビエ音楽祭アカデミー室内楽部門の芸術顧問も務める。

藤田 真央 (ピアノ)

Mao Fujita (Piano)



© Doviile Sermokas

2017年第27回クララ・ハスキル国際ピアノ・コンクール優勝。19年第16回チャイコフスキー国際コンクール第2位。唯一無二の音色が世界的に高く評価され、今もっとも国際的に注目される日本人ピアニストのひとりである。2025/26シーズンは、P.ヤルヴィ指揮ドイツ・カンマーフィルとの欧州ツアー、ほかボストン響、チェコ・フィル、ウィーン響等との共演、など予定。リサイタルでは欧州主要都市に加え、カーネギーホールへの3度目の登場を含む北米8都市のツアーを行う。これまでに、ビシュコフ、シャイー、エッセンバッハといった世界的指揮者と共演。ロイヤル・コンセルトヘボウ管、バイエルン放送響など名門楽団との共演も多数。室内楽でも高い評価を得ており、ハーゲン弦楽四重奏団との共演ではザルツブルク音楽祭にデビュー。ルツェルン音楽祭、ヴェルビエ音楽祭など主要音楽祭にも多数出演。22年《モーツァルト:ピアノ・ソナタ全集》をソニー・クラシカル・インターナショナルよりリリースしオーパス・クラシック賞を受賞。現在、ハンス・アイスラー音楽大学にてキリル・ゲルシュタインに師事。

ヴェルビエ祝祭室内管弦楽団

Verbier Festival Chamber Orchestra

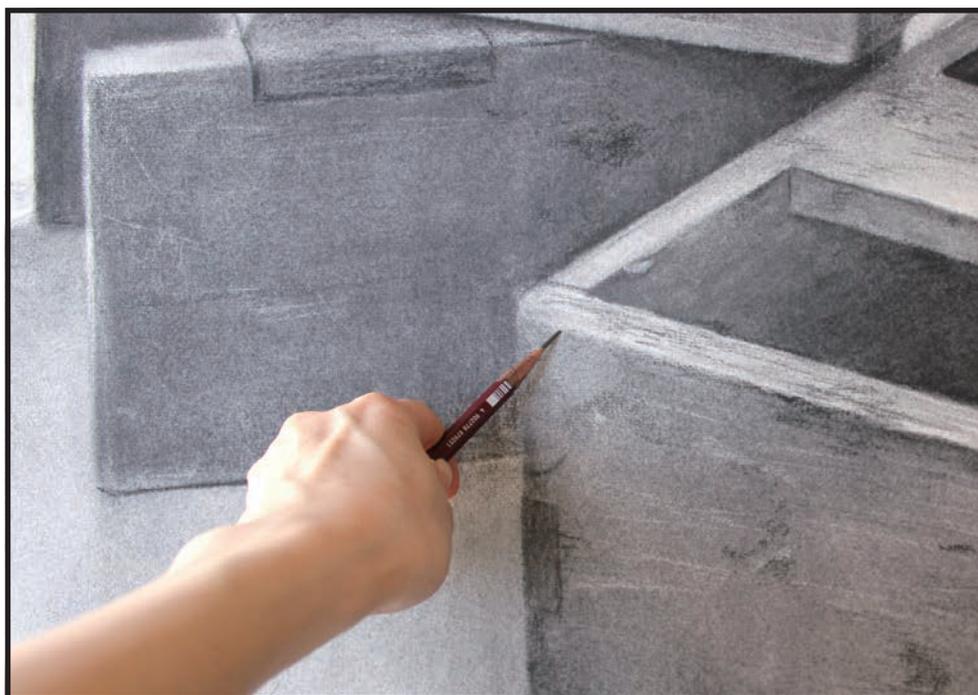


© Silvia Laurent

2005年に創設され、世界でもトップクラスの室内オーケストラとされるヴェルビエ祝祭室内管弦楽団は、ヴェルビエ音楽祭のオーケストラトレーニングプログラムの卒業生で構成され、メンバーはウィーン・フィル、ベルリン・フィル、イスラエル・フィル、メトロポリタン歌劇場、ロイヤル・コンセルトヘボウ、ロンドン響など各国を代表する楽団で活躍している。毎年夏のヴェルビエ音楽祭期間中には、音楽監督ガボール・タカーチ=ナジをはじめ、パッパーノ、ティルソン=トーマス、ハーディングら著名な指揮者が招かれている。さらにアンドラーシュ・シフ、レオニダス・カヴァコス、ピンカス・ズーカーマン、マルタ・アルゲリッチ、ユジャ・ワン、ダニール・トリフォノフ、ミッシェル・マイスキー、藤田真央など豪華なソリストが頻りに共演している。2006年にはマキシム・ヴェンゲーロフとの録音後、北米とヨーロッパで22公演のツアーを開催。以来ヴェルビエ音楽祭の親善大使として世界各地で演奏を行っている。更に2008年より、毎年秋にバイエルンのエルマウ城にレジデントとして招かれている。

次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお買い求め下さい。

①やむを得ない事情により、曲目等が変更になる場合がございます。公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットのキャンセル・変更等はできません。②いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。③演奏中は入場できません。④未就学児の同伴はご遠慮下さい。また、就学児以上のお子様もご入場には1人1枚のチケットが必要です。⑤全指定席です。指定の座席にてご鑑賞下さい。⑥場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は固くお断りいたします。⑦ネットオークション等によるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。⑧他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。



描いが、美しい。

uni
140th

当社は今年、創業140年。

我々の製品から生み出される描線は、
アートを描けば感動や驚きを。
設計図を描けば便利や快適を。
楽譜を描けばやすらぎや熱狂を。

あなたへ。遥か彼方の人へ。
遠い未来の人へ。そして、すべての人へ。

これからも、
ワクワクやドキドキを届けます。

三菱鉛筆株式会社